

令和4年度第4回庁議 会議録

[日 時] 令和4年7月6日（水）9時00分～9時43分

[場 所] 庁舎応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長及び各部局長

[会次第]

- 1 市長あいさつ
- 2 議 題
 - (1) 令和3年度決算状況について (企画部)
 - (2) 令和3年度水道事業会計・工業用水道事業会計・公共下水道事業会計
決算状況について (上下水道局)
- 3 協議事項
(なし)
- 4 連絡事項
 - (1) 組織機構の見直しについて (総務部)
 - (2) 個人情報取扱の責任と権限の再確認と徹底について (加藤副市長)
- 5 その他

1 市長あいさつ

本日は、「令和3年度決算状況について」企画部と上下水道局から説明をしていただく。続いて、連絡事項として、総務部から「組織機構の見直しについて」、加藤副市長から「個人情報取扱の責任と権限の再確認と徹底について」連絡していただき、本日の庁議は、9時40分に終了することを目標とする。

2 議題

- (1) 令和3年度決算状況について (企画部)

市長	それでは、議事に入る。 「令和3年度決算状況について」、企画部から説明をお願いします。
企画部長	令和3年度の決算の状況について、説明する。 まず、一般会計、歳入決算額は581億3,869万8千円、 歳出決算額は570億4,706万2千円で、形式収支は10億

9,163万6千円の黒字となっている。この形式収支から令和3年度への繰越一般財源を差し引いた実質収支は、9億8,391万8千円となり、53年連続の黒字決算となっている。

次に、主要な基金の状況であるが、令和3年度末の現在高は、財政調整基金が5億717万3千円減の17億5,433万3千円、減債基金が10億6,705万7千円増の16億4,340万円、公共施設整備基金が8億8,070万9千円増の10億8,389万3千円となっている。

次に特別会計、介護保険事業、後期高齢者医療事業及び工業用地造成事業については黒字決算となっており、その他の特別会計は、収支ゼロとなっている。

最後に、令和3年度末の市債残高であるが、一般会計が542億3,842万9千円、うち臨時財政対策債が233億3,091万8千円、特別会計が1億7,696万円となっており、一般会計、特別会計の合計は544億1,538万9千円で、令和2年度末に比べ、3億433万9千円増加している。

市長

先ほどの説明に対し、何か質問等は無いか。

加藤副市長

財政調整基金は、令和3年度末で約17億5,400万円とのことだが、令和4年度当初ではどの程度使っているのか。

企画部長

約7億円である。

加藤副市長

今現在で言えば10億円を切っているということになる。

財政調整基金は本来であれば30億円程度見込んでおきたいところだが、先ほどの説明のとおり、今の一般財源は潤沢ではないということを理解しておいてほしい。

今後も大規模な予算を必要とする事業を計画している部局もあると思うが、財政状況が厳しい状況であるということについては各部局それぞれ意識しておいてほしい。

企画部長

今年の交付税額が当初予算で予定していた歳入より減る予定であるため、歳出については、今後より一層厳しく査定していく必要があると考えている。

教育長	財政調整基金は、主に何に使われているのか。
加藤副市長	歳入は、当初予算で見込みを立てて、その額を歳出予算として計上するが、補正予算では、既に年間の収入見込み分については予算を充てているので、一般財源の歳出に貯金である財政調整基金を充てるという流れになる。つまり、歳入だけでなく、歳出も可能な限り当初予算で措置しなければ、補正予算で措置できないということも起こりうる。
市長	昨年サマーレビューを実施したが、今年も実施するのか。
企画部長	会計年度職員を含めた人件費、委託料、補助金については予定している。
加藤副市長	歳入の関係で、使用料手数料の見直しも今年度準備し、来年度に実施することを計画している。

(2) 令和3年度水道事業会計・工業用水道事業会計・公共下水道事業会計
決算状況について (上下水道局)

市長	次に、上下水道局に説明をお願いします。
上下水道局長	<p>上下水道局からは、令和3年度水道事業会計、工業用水道事業会計及び公共下水道事業会計の決算の概要について説明する。</p> <p>まず、水道事業会計の業務量については、給水人口は11万3,502人で対前年比150人の減、給水戸数は5万6,341戸で367戸の増となっている。年間有収水量は19万1,328立方メートル減少している。有収率は92.6%で前年度を0.3ポイント上回った。収益的収支は、収入が17億6,210万9千円、支出が15億7,819万8千円で、純利益は対前年比1億1,816万円減の1億8,391万1千円を計上したが、本業の収支を示す営業収支では、平成9年の料金改定以来、初めて1,845万9千円の営業損失を計上した。資本的収支は、収入が5億725万円、支出が16億1,357万6千円で、不足額11億632万6千円は損益勘定留保資金等で補填した。</p> <p>次に、工業用水道事業会計の業務量については、給水企業数及び契約水量に変更はないが、料金算定分の年間有収水量は121</p>

万5,900立方メートルの増加となっている。収益的収支は、収入が2億4,782万7千円、支出が1億8,333万5千円で、純利益は、対前年比1,865万6千円増の6,449万2千円を計上した。資本的収支は、収入が3,281万円、支出が1億2,032万1千円で、不足額8,751万1千円は、損益勘定留保資金等で補填した。

次に、公共下水道事業会計の業務量については、水洗化人口は6万9,528人で対前年比232人の増、水洗化世帯は3万4,834戸で529戸の増となっている。年間有収水量は7万5,824立方メートル減少し、有収率は77.2%で前年度を2.4ポイント上回った。収益的収支は、収入が36億9,982万4千円、支出が35億6,033万9千円で、純利益は1億3,948万5千円を計上した。資本的収支は、収入が31億9,757万6千円、支出が48億47万2千円で、不足額16億289万6千円は損益勘定留保資金等で補填した。

なお、一般会計からの繰入金については、令和2年度繰入金を1億5千万円減額する清算を行ったことから、令和3年度の繰入金総額は、15億6,050万8千円、前年度比3億428万3千円の減となった。令和2年、3年度の平均で17億1千万円程度となり、過去5年間平均よりは6,100万円ほど減額となっている。

市長

先ほどの説明に対し、何か質問等はないか。

加藤副市長

決算の内容ではないが、料金の値上げの協議を進めていた中で作成した将来推計に沿うような形で内部的なスリム化も組み入れているので、今年度、来年度と計画的に実行してほしい。

市長

説明の中で、赤字になったと言っていたが、どういうことか。

上下水道局長

水道水を供給する、という本業の収支でいうと平成9年の値上げ以降ずっと黒字だったが、今年の決算では、水道を供給する経費が水道料金収入を上回った。本業以外の収益はあるが、本業だけで言うと初めて赤字になったということである。

加藤副市長

本業以外の収益とは、例えば何があるのか。

上下水道局長	長期前受金戻入や支払利息などである。
市長	ということは、早く料金改定をしないといけないということか。
上下水道局長	早くしないと差が広がる一方になるので、どんどん経営が厳しくなる。

3 協議事項 (なし)

4 連絡事項

(1) 組織機構の見直しについて

(総務部)

市長	次に、連絡事項に移る。 「組織機構の見直しについて」、総務部から説明をお願いします。
総務部長	組織機構の見直し(案)の提出について、説明する。 本市の組織機構については、これまでも、適宜見直しを行いながら、組織の簡素化、効率性の向上に努めてきたが、令和5年度においても、引き続き、見直しを行うこととしている。 まず、資料1をご覧いただきたい。今年度の見直しについては、「既存の体制にとらわれず、目的のために変化する組織」、「新たな行政課題や市民ニーズに迅速かつ的確に対応できる組織」、そして、「簡素・効率的でわかりやすい組織」という三つの視点で、見直しを行っていただきたいと考えている。スケジュールについては、7月29日(金)までに、見直し案を提出していただき、ヒアリングを8月下旬までに実施、その後、庁議に素案を提出し、改めて協議する予定としている。 次に、資料2の令和3年度と令和4年度の「組織新旧対照表」、資料3の1「部・課所室・係・局の数」を、ご覧いただきたい。昨年度の組織機構を見直した結果としては、令和3年度10部78課、2つの班を含む230係から、令和4年度は10部3局72課、3つの班を含む204係となり、全体では、3局の新設、6課・26係の減となった。 主な見直しについて、企画部を例に申し上げますと、まず、部をまたぐ見直しでは、文化及びスポーツに関する事務を教育委員会

から企画部に移管し、まちづくりの観点から事業を展開するため、文化スポーツ局を設置した。次に、課のレベルでは、秘書広報課と地方創生推進課を再編、秘書・広聴業務を担う秘書課と、広報業務、本市の魅力発信及びシティブランドの推進強化を担う、シティプロモーション推進課を設置した。また、組織の最小単位である係については、財政課の財務調整係と財政情報係の2係を財政係に統合するなどの見直しを行った。こうした企画部の例にもあるように、部内における課の統廃合・新設などは、部長権限で積極的な検討をお願いする。特に、係については、管理職が係長を兼務している係や係員のいない係を解消することを目途に、昨年度は、係の30%削減を目標としたが、11.3%減、26係の減と、目標を達成できていない。係数の数値目標は、昨年度から継続し、現在の204係から、43係減の161係を目標とするので、引き続き係の統廃合の検討をお願いする。なお、資料3の2「職位ごとの職員数」及び資料4「組織の推移」については、後ほど確認をお願いしたい。

また、部をまたぐ統廃合・新設など、中期的に検討しなければならないことがある場合は、部内で意見をまとめ提出いただいて、市長・副市長と協議を行ない検討したいと考えている。各部局長のリーダーシップのもと、積極的な見直し案の提示をお願いする。なお、定員管理関係調査については、例年の11月より時期を早めて10月下旬に通知する予定なので、よろしく願います。

市長

ただいまの説明について、何か意見、質問等は無いか。

市民環境部長

係の削減を積極的に行うということか。

総務部長

そうである。

加藤副市長

係の削減を考えると、1課1係というのは、組織的にはおかしいので、そうなった場合は課の統合ということも部局長が考えていただきたい。

説明の中でもあったが、係長兼務をしている副課長が一定数いるということなので、1年で全ての状況を改善することが無理なのは承知しているが、早くその状態を脱したいので、業務の見直しを含め、積極的に検討してほしい。

	<p>ほかにも、今思いつくことで言うと、企画部のICT戦略課には、デジタルという言葉を入れて考えてもらいたい。SDGsをどのようにするのか、ということも考えたい。また、経済部の農林水産課と農地整備課については、設計書を見る責任を管理職が負うべきだという点もあるので、管理職に技術職をどのように配置するのかという観点からも検討が必要である。今挙げたものは代表例なので、ほかにもそれぞれ考えてほしい。</p>
市長	<p>今年大幅な見直しがあったので、まだ、その状況に馴染んでいないところもあるとは思いますが、来年に向けて前向きな提案をしてほしいと思うので、よろしく願います。</p>
加藤副市長	<p>今年3局新設したが、それにより良くなったことを可能な限り効果が目に見えるような形でアピールできるように、3局長には、努めていただきたい。</p>

(2) 個人情報取扱の責任と権限の再確認と徹底について

(加藤副市長)

市長	<p>次に、「個人情報取扱の責任と権限の再確認と徹底について」、加藤副市長から説明をお願いします。</p>
加藤副市長	<p>資料にあるが、個人情報の取り扱いについて、先日、尼崎市で46万人分の個人情報を含むUSBメモリを業者が紛失したという報道があった。釜石市では、全市民の個人情報を違法に取得し、漏洩した職員が懲戒免職となっている。本市でも過去に漏洩事故が発生したことはある。こういったことが起こるのは、情報資産取扱いの検討が不十分な状況ではないかと考えられるし、情報資産取扱いの各権限と責任が明確でない、あるいは認識されていないということである。セキュリティポリシーの中で情報資産を分けているので、その点について、部局長は責任者として理解しておいてほしい。</p> <p>外部持ち出しについては原則禁止だが、必要性がある場合にはその根拠の確認を徹底すること。また、契約で業者に委託する場合は、事前に業者とよく協議し、契約の中で情報の取扱いについて明記すること。</p> <p>確認の手順については、3(2)に掲載している。部局長は情報セキュリティ責任者であるので、確認、承認を行い、最終的に</p>

は私が最高情報セキュリティ責任者だが、副責任者は企画部長であるため、企画部長にも連絡がいくようにしてほしい。

確認実施時期は、事業の計画段階である。これが出来てないのではないかと思われるので、部局長はその時点で意識しておくこと。

具体的な対策のポイントについては、4に記載している。USBメモリで渡す場合は、市で指定したセキュリティUSBを使用し、輸送についてはセキュリティ便を使用する。メールの場合は、相手方メールへの返信によりアドレスの打ち間違いによる誤送信等を防ぐ。また、その他の対策については、ICT戦略課に事前に相談すること。最終的な段階で相談することが多いとも聞いている。業務上必要なことなので、計画の段階から相談するよう徹底する。

役所とは個人情報に至るところにある場所である。外部提供の際だけでなく、普段の業務の中であっても、個人情報に関わることについては小声で話す、といった配慮も当然求められている。特に来客者の多い1、2階はどこで誰が何を聞いているか分からないので、業務に必要なこととはいえ、個人情報について大声で話し、誰かに聞こえるようなことがあってはならない。そういった点にも注意するよう、各課長等に再度、指示すること。

現状、新居浜市で何か具体的な問題が起こっているわけではないが、他市でも問題が起こっているので、セキュリティポリシーについては今一度確認し、分からない部分があればICT戦略課に必ず相談すること。以上である。

5 その他

市長	そのほかに何か連絡しておくことは無いか。
監査委員事務局 長	<p>監査委員事務局から連絡する。部局長の強いリーダーシップによる指示をお願いしたいのだが、今年度、監査資料の差し替えがあまりにも多く、目に余る状況である。部局長に全ての書類に目を通せとは言わないが、課長等の管理職、係長には指示をし、間違いのない資料の提出を徹底していただきたい。</p> <p>昨年の資料をそのまま転記しているケースや内容を確認しているとは思えない提出資料も多い。昨年度の最後の庁議でも申し上げたが、監査資料の様式を変更しているものもあるので、提出の</p>

	<p>際は、その部分についても確認を徹底するようお願いする。</p>
市長	<p>他に無いか。</p>
企画部長	<p>企画部から連絡する。広報の強化ということで、今年度、10月に向けて広報戦略を作りたいと考えている。市政情報を効果的に展開させるためには、各部局、各所属における取組が必要不可欠であり、市全体における戦略的な取組が求められているということで、今年度、政策共有による計画的な広報、SNSを効果的に活用した広報、メディアに対する対応力強化、広報に対する職員の意識向上を目的とした新居浜市広報戦略を策定したいと考えている。</p> <p>そこで、ワーキングチームを設置し、10月策定に向けて、7～9月で合計3回、会議を開催したいと考えており、教育委員会、上下水道局、消防本部からは各1名、その他各部局から1名で合計10名を選出させていただきたいと考えているので、庁議終了後メールで通知するので協力をお願いする。</p>
市長	<p>広報については常々言っていることなので、良い戦略を策定していただきたい。</p>
加藤副市長	<p>部局横断的に職員を公募し、行っているものがいくつかあるかと思うが、各部長はそれぞれ協力して、特に若い職員の意見を最大限生かせる雰囲気づくりをしてほしい。</p> <p>プロジェクトに参加したいと思っている職員の思いや、これまでの枠に捉われない発想について、部長自身がちょっと違うかな、と思うことであっても、最終的にどうなるかというのは、プロジェクトの協議の中や、私たちのところに上がってきたところで変わるかもしれないので、積極的に支持してあげてほしい。</p> <p>そうでないと新しいことについての対応は出来ないし、積極的に新しいことにチャレンジしていくということは良いことなので、3C職員の育成という観点からもお願いする。</p>
原副市長	<p>今、活動している庁内横断的に検討を行うプロジェクトチームや検討委員会は、私の認識では、文化スポーツ局の総合運動公園、文化センター、今度こども局が作ろうとしているプロジェクトチ</p>

	<p>ーム、環境エネルギー局が実施している3部会、それと今回の企画部の広報戦略の会がある。学校給食センターについては、教育委員会と企画部と建設部と一緒にプロジェクトチームとして従来から動いているが、こういったもの以外に今実施しているものはあるのか。</p>
市長	<p>どういったものがあるか、どういうことを検討しているか、ということは、どこかがまとめているのか。</p>
加藤副市長	<p>それぞれで動いている。</p>
市長	<p>企画部で表にまとめるようお願いする。</p>
加藤副市長	<p>年1回開催のものもあるので、かなりの数になるのではないかと。</p>
企画部長	<p>次回の庁議で、重要事業等の進捗報告を行うので、その際に各部局で名称と現状を入力できるような表を作成し、報告するようにする。</p>
市長	<p>せっかく実施しているものなので、分かるようにお願いします。他に無ければ、以上で令和4年度第4回庁議を終わる。</p>